

News Release

お互いさま連携強化のため、南海トラフ地震発生を想定した『物資代替輸送演習』（試食訓練および意見交換会）を実施しました

東急ファシリティサービス株式会社（取締役社長 瀧名 節）は2019年2月15日、「お互いさま連携協定」（※）締結先との連携強化のため、南海トラフ地震発生を想定した『物資代替輸送演習』（試食訓練および意見交換会）を実施しました。

本演習は昨年12月27～28日に実施した同演習において、関西地区のお互いさま連携協定先である阪急阪神ビルマネジメント株式会社の商業施設（兵庫県西宮市）まで物資輸送を実施した物資内容について、必要品目や数量について試食訓練を通じ、意見交換を行いました。

本演習で輸送した試食訓練および意見交換会において、病気やアレルギーのある方への配慮として、カロリー表示やアレルギー表示があるとよいという意見や、食事の量や価格設定について等、様々な意見交換ができました。

本演習をきっかけに、今後も両社の事業継続力向上に向け、連携を強化してまいります。

（物資到着後の試食訓練および意見交換会の様子）



当社は今後も、お互いさま連携協定締結先企業との連携強化のため、さまざまな活動を実施、推進してまいります。

※「お互いさま連携協定」…同時被災の可能性が少ない遠隔地に所在する企業と連携体制を構築することで、いずれかの事業エリアで災害が発生した際に「お互いさま」の精神で両社が協力し合い、被災した側の企業の事業継続および円滑な復旧を支援することを目的とした協定

【本件に関するお問い合わせ】

東急ファシリティサービス株式会社 ビルマネジメント事業部 BC研究センター（担当：小納）

TEL：03-6372-0112 FAX：03-6372-0145